



**Q. 高い国保税の減免拡大を
基本健診料は無料が本旨**

**A. 減免基準の見直しは検討
特定健康診査の手数料は継続**

野崎 八十治 議員

Q

長引く不況による失業や非正規化、退職者等の増加は加入者の所得を全体的に引き下げ、高い国保税の収納率を下げている。減免を拡げ収納率向上を。

- ① 所得半減減免の前年所得基準の引上げ。
 - ② 北名古屋市のように法定軽減の上積み。
 - ③ 70歳以上高齢者や18歳以下の者、障害者等の均等額割の減免。
- 40歳から70歳の特定健

A

診は疾病予防で医療費抑制を図るもの。無料が基本。

A

①②③本町の国保税は、均等割額・平等割額とも県下自治体の中でも最も低い税額であり、低所得に対応した税率体系をとっている。所得激減による減免基準額の見直し等は、引き続き検討を進める。

生活習慣病の予防や医療費の抑制を目指した特定健康診査は、受診率の向上が最優先課題と考えている。手数料の徴収はこの観点から、検討を続けていく。

Q. 県営名古屋空港関連、その後の状況と見通し

A. 10月末からFDAが福岡便就航

Q

これからの豊山町を見通す場合、空港と周辺の関連する諸問題は、多くの住民の関心事である。機会あるごとに報告を。

- ① JAL撤退問題とFDA就航について。
- ② ジャクサその後の状況。
- ③ 三菱MRJ開発製造計画と工場内整備状況等。
- ④ 空港跡地の利用計画等。

A

① ジェイエアが廃止する9路線のうち福岡線については、



建設が進むJAXAの試験研究施設

10月末からFDAが運航することになった。その他、廃止路線については引き続き存続に向け、活動を継続していく。

- ② JAXA(ジャクサ)の試験研究施設は平成23年3月。(以後稼働予定)
- ③ 三菱MRJの技術試験場は、平成22年12月の完成に向け建築工事が進められている。
- ④ 旧空港用地の現在の状況は、県と民間に売却が進み、現時点では、A地区2.9ha、C地区の5haが未定となっている。